

「特殊乗車券・特殊航空券」の取扱いについて

1. 「特殊乗車券・特殊航空券」の概要

(1) 「特殊乗車券・特殊航空券」の交付

選挙長は、選挙公示日に、候補者に対して、以下の4種類を1冊にまとめた「特殊乗車券・特殊航空券」綴りを6組交付します。

- a. 旅客運賃後払証（以下「後払証」という。）
- b. 旅客会社全線乗車証（普通列車）
- c. 航空搭乗券引換証（50枚綴り）
- d. 旅客会社特急列車乗車用引換証（50枚綴り）

(2) 効力

1組の「特殊乗車券・特殊航空券」に対して、JR又は航空のいずれか最初に利用した交通機関のみを利用することができます。すなわち、JRを最初に利用した場合は、それ以後、「特殊乗車券・特殊航空券」を使用して航空を利用することはできず、航空を最初に利用した場合は、それ以後、「特殊乗車券・特殊航空券」を使用してJRを利用することはできません。

(3) 使用資格者等

公職の候補者その他選挙運動に従事する者

JR又は航空を利用する際には、「特殊乗車券・特殊航空券」を必ず携帯することとし、1組の「特殊乗車券・特殊航空券」に対して、同時に複数名がJR又は航空を利用することはできません。例えば、2名が同一行程でJR又は航空を利用する際は、2組の「特殊乗車券・特殊航空券」が、6名が同一行程でJR又は航空を利用する際は、6組の「特殊乗車券・特殊航空券」が必要です。

【以下に該当する場合は乗車券を無効として回収します。】

- ・ 資格を有する者以外の者が使用した場合
- ・ 公職の候補者が、当該候補者たる参議院名簿登載者に係る記載が抹消された後、参議院名簿届出政党等が当該候補者に係る参議院名簿を取り下げた後又は当該候補者に係る参議院名簿の届出若しくは当該候補者に係る参議院名簿登載者の補充の届出が却下された後に使用した場合

(4) 通用期間・初回利用日

通用期間は、選挙公示日から選挙期日後5日を経過する日までです。

ただし、JR又は航空を初めて利用するのは選挙期日以前である必要があり、選挙期日を経過した後に初めてJR又は航空を利用することはできません。表紙の初回利用日欄には、旅客会社全線乗車証の発行日又は航空搭乗券引換証の初回搭乗日を記入していただきますが、選挙期日以前である必要があります。

通用期間を経過したときは、候補者は、速やかに選挙長に「特殊乗車券・特殊航空券」を返戻するものとします。

(5) 追加交付

候補者は、当初交付された旅客会社特急列車乗車用引換証又は航空搭乗券引換証を全て使用する場合には、選挙公示日から選挙当日までの間、旅客会社特急列車乗車用引換証にあつては、旅客会社全線乗車証を、航空搭乗券引換証にあつては、後払証を選挙長に提示し、選挙長より当該引換証の追加交付を受けることができます。

2. JRを選択する場合の利用方法

(1) 初めに行っていただくこと

特殊乗車券でJRを初めて利用する際は、＜旅客会社全線乗車証を有効にする手続き＞をまず行ってください。

＜旅客会社全線乗車証を有効にする手続き＞

- ① 最初に旅客会社線に乗車する際には、表紙の {JR} に○をしてください。
- ② 候補者は、1. (1) a～dの「特殊乗車券・特殊航空券」綴り1組を切り離さずに、JRの各駅の「みどりの窓口」又は「JR全線きっぷうりば」に提出。
(旅行代理店及びJRの駅たびコンシェルジュ等では取り扱わないので注意)
- ③ JRの窓口では、後払証を回収し、旅客会社全線乗車証にそれが有効となるための必要事項を記入し、控え片を回収。

なお、この手続きは最初に1回行えば、次回以降の手続は不要。また、旅客会社全線乗車証は手続を行った後も綴りから切り離さずに使用してください。

(2) JR線への乗車方法

(1)における＜旅客会社全線乗車証を有効にする手続き＞を終え、実際に乗車する際は、以下の利用方法となります。

特急又は急行列車を利用する場合と、それ以外の普通列車のみを利用する場合とで扱いが異なりますので十分にご注意ください。

ア. 特急又は急行列車の利用方法＜別紙参照＞

旅客会社全線乗車証だけでは、特急又は急行列車には乗車できません。特急又は急行列車に乗車する場合は、以下の手順により旅客会社特急列車乗車用引換証（以下「引換証」という。）により乗車券・特急券等と引き換えてください。

- ① 候補者は、予め引換証に必要事項（太枠線内）を記入の上、切り離さずにJRの各駅の「みどりの窓口」又は「JR全線きっぷうりば」に提出してください。

【注意事項】

- ※ 旅行代理店及びJRの駅たびコンシェルジュ等では取り扱いません。
- ※ 列車内では引換証による取扱いはい行いませんので、必ず事前に乗車券・特急券等と引き換えて下さい。
- ※ 引換証の候補者氏名欄には、候補者名簿に登載された氏名を記載してください。

- ② JRの窓口では、上記引換証と引換えに乗車券・特急券等を発行します。（選挙用である旨の表示入）

【注意事項】

- ※ 引換証1枚で引き換えることができる乗車券・特急券等は、片道乗車券と当該乗車券の区間の特急・急行列車に限ります。
- ※ 往復となる場合は、引換証が2枚必要です。

- ③ 候補者は、特急又は急行列車乗車の際は、②で発行された乗車券・特急券等と旅客会社全線乗車証等を必ず携帯し、車内検札の際には乗車券・特急券等とともに、当該旅客会社全線乗車証を係員に提示してください。

【注意事項】

※1回の旅行で、1枚の全線乗車証で旅行できるのは1人のみです。1枚の全線乗車証で同時に複数人が旅行することはできません。

- ④ 使用開始前に列車等の変更を行う場合は、引換証が別に2枚必要です。この場合、引換証にはJR係員の指示を受けて必要事項を記入してください。なお、使用開始後は乗車券・特急券等の引換証による変更は取り扱わないので、事前にJRの各駅の「みどりの窓口」又は「JR全線きっぷうりば」で変更してください。

【注意事項】

※以下の場合についても事前に窓口で変更が必要です。

- ・ 同一列車内で指定席を別の座席（窓側から通路側等）に変更する場合
- ・ 東海道線、常磐線、中央線等の特急列車の「座席未指定券」に座席指定する場合

- ⑤ 引換えた乗車券・特急券等が不要となった場合は、払戻用の新しい引換証と不要となった乗車券・特急券等を添えてJRの窓口に出し、必ず払戻しの手続きを行ってください。（引換証の払戻欄に○印を付け、払戻しをする乗車券類の区間を記入のこと）

イ. 普通列車の利用方法＜別紙参照＞

候補者は、有人改札口の係員に旅客会社全線乗車証を提示して、改札口を通過し、列車に乗り込んでください。

（３） 通用する区間

JR鉄道全線

※特急又は急行列車に乗り込む場合は、引換証により乗車券・特急券等を引き換えてください。

（４） 国が負担する運賃・料金

JR線の運賃、指定席特急料金、自由席特急料金、特定特急料金、立席特急料金、急行料金、急行列車の座席指定料金及びこれらの運賃・料金の払戻しに要した払戻し手数料

（５） 候補者側が負担する料金

上記の国が負担する運賃・料金以外の料金等（例：グリーン料金、グランクラス料金、寝台料金、ライナー料金、乗車整理料金、普通列車・快速列車の座席指定料金等）及びこれらの料金等の払戻しに要した払戻し手数料

また、JR以外の鉄道（JRと直通運転するJR以外の鉄道を含む。）を利用した場合の運賃・料金については、全額候補者側の負担

※JRの窓口でこれらの運賃・料金の支払いは現金に限ります。クレジットカードによる支払いはできません。

3. 航空を選択した場合の利用方法

(1) 予約

参議院名簿の届出がなされ候補者が確定する選挙公示日以降、候補者等は、航空搭乗券引換証の裏面に記された航空会社の指定する連絡先による電話予約ができます（その後の予約変更も可能です）。WEB サイトや旅行代理店等を通じて予約することはできません。

予約を行わない場合は、一般旅客と同様に、当日に空席がある場合のみ搭乗可能となります。

(2) 利用までの手続き

- ① 候補者等は、予約を行った後、航空搭乗券引換証の搭乗者控片と航空会社回収用片の両方に必要な事項（搭乗者の氏名、年齢、性別、搭乗区間、利用航空会社名、便名、搭乗日、候補者氏名等）を必ず搭乗者自らが記入してください。また、本券の記入事項を訂正したときは、訂正箇所に搭乗者の認印又はサインがなければ使用できません。搭乗便変更の際も搭乗者が訂正を行ったうえで、訂正箇所に認印又はサインが必要です。不測の事態が発生した場合も含め、当初の搭乗便が変更になった場合は必ず係員へ申し出てください。
- ② 候補者等は、搭乗手続きカウンターに、必要な事項を記載した航空搭乗券引換証及び後払証を提示して、航空搭乗券の発行を受けます（航空搭乗券引換証の航空会社回収用片はこの時点で航空会社が候補者等から回収します）。なお、最初に搭乗する際には、表紙の「航空」に○をしてください。
- ③ 航空搭乗券引換証は、後払証とともに提示される場合に限って有効なものとなり、搭乗手続きを行う前に「特殊乗車券・特殊航空券」から（又は、搭乗者控片と航空会社回収用片を）切り離されたものは無効とします。
- ④ 候補者等が空港における搭乗口を通過する際には、搭乗口の係員に航空搭乗券と併せて後払証を提示します。
- ⑤ 払戻しは不可とします。また、航空搭乗券引換証をもって、事前に航空券又は航空券引換証と引き換えることはできません。

(3) 通用する区間

国内定期航空運送事業を経営する事業者（Peach・Aviation(株)、ジェットスター・ジャパン(株)及びスプリング・ジャパン(株)を除く。）のすべての路線
ただし、以下のコードシェア便（共同運航便）を除く。

日本航空（JAL）が販売するオリエンタルエアブリッジ運航便、全日空（ANA）が販売する日本エアコミューター（JAC）運航便及び天草エアライン運航便

(4) 国が負担する運賃

普通運賃及び併せて徴収される旅客取扱施設使用料並びに燃油特別付加運賃

(5) 候補者側が負担する料金

運賃以外の料金（例：特別席料金、超過手荷物料金 等）

【注意事項】

※特別席につきましては、設定の有無や利用方法が会社により異なりますので、ご利用の際は航空会社に御確認をお願いします。

(6) その他の留意事項

- ① 候補者等が選挙公示日以前に予約を行っており、公示日時点において航空券の発券をしていない場合について、「特殊乗車券・特殊航空券」を使用して当該予約に係る便の利用を希望する場合には、当該利用が可能かどうかについて予約の有効性の確認の必要があるとともに、場合によって予約番号の変更を行う必要があること等から、あらかじめ、航空搭乗券引換証に記載された航空会社の予約受付電話番号に電話をしてください。

なお、選挙公示日以前に発券を行っている場合には、「特殊乗車券・特殊航空券」を使用して当該予約に係る便を利用することはできません（払戻手数料及び取消手数料を支払って当該発券された航空券を払い戻した上で、「特殊乗車券・特殊航空券」を使用した航空の利用についてあらためて電話予約する必要があります）。

- ② 搭乗を予定している便に欠航、発着地の変更等不測の事態が発生した場合は、各航空会社の指示に従ってください。
- ③ 同一冊子の「特殊乗車券・特殊航空券」により同一便に複数名搭乗することはできません。